

常任委員会で調査を進めています

各常任委員会では、所管する市の事務に関する調査を行っておりますが、主な取り組み状況についてお知らせいたします。

総 務

「生成 AI が与える行政運営への影響に関する調査」の一環として、市当局より市の取り組みについて説明を受け、その後、実際に生成 AI を使用した検証を行いました。

文 教 福 祉

「認知症対策と家族支援に関する調査」の一環として、専門家の方からの説明、質疑を行い、課題の整理や解決に向けた意見を伺いました。

内 容：地域包括ケアシステムにおける認知症患者、家族への対応について

参考人：地域包括支援センター職員 2名

内 容：認知症の家族介護者への支援と自治体に求められる役割について

参考人：東北福祉大学 総合福祉学部 福祉心理学科 教授 加藤 伸司 氏

経 済 民 生

「持続可能な農業の振興に関する調査」の一環として、専門家の方からの説明、質疑を行い、国や県を含めた現状との比較や他自治体の先進事例などを確認しました。

内 容：新規就農者の確保と定着のための対策についてなど

参考人：福島大学 食農学類長 荒井 聡 氏

建 設 水 道

「市営住宅の今後のあり方に関する調査」の一環として、建築年や立地が異なる市営住宅4カ所の現地調査を実施し、建物や設備の現状、耐震性がない住宅の安全性や入居停止団地の今後の活用など管理運営面の課題を確認しました。



建設水道常任委員会の現地調査

複合市民施設に関する調査特別委員会

複合市民施設に関する調査特別委員会では、(仮称)市民センターに関する調査を継続して行っており、2月には市当局より管理運営案などについて説明を受けました。

オープン時期は、令和7年2月から3月初旬を想定していること、使用料、予約方法、駐車場の有料化の方針などが示され、質疑を行いました。

また、3月定例会議では関連する議案が提出され、令和5年度の関連予算の補正やそれに伴う工事請負契約の変更、令和6年度予算などについて審査しました。

令和5年度では、資材価格の高騰と工事中に発生した湧水処理に要する費用の増額や工期の延長、令和6年度予算では、建設費用などの歳出と国などから受けられる補助金などの歳入について審査を行いました。



(仮称) 市民センター イメージパース